

セミナー

先住民族・地域コミュニティの人権を 尊重するということ

～森林・開発分野でのFPIC実践をめぐって～

気候変動緩和と生物多様性保全の両方を実現する対策として期待が高まるREDD+については、森林に生計手段等を依存して暮らす先住民族や地域コミュニティに対して大きな影響を与えることが懸念されています。このような懸念に対応するためセーフガード対策についての国際的議論が進んでいますが、FPIC（自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意）はその中心の要素となっています。地球・人間環境フォーラムと熱帯林行動ネットワーク（JATAN）は、REDD+事業に関心をもつ日本の企業・組織向けに、FPICガイドラインを作成しました。本セミナーでは、最新版のガイドラインの発表に合わせ、国際人権法の動向、森林での開発の現場に詳しい講師から、森林に生計を依存する先住民族・地域コミュニティの人権を尊重するということの具体的な内容とFPICについて、わかりやすく解説いただきます。

開催概要

日時：2015年2月5日（木）14:00-16:30

場所：航空会館901会議室

プログラム

各講演には質疑応答の時間を設けます
本セミナーでは逐次通訳がつきません
(敬称略)

- | | |
|-------|--|
| 14:00 | 開会 |
| 14:10 | 国際人権とFPIC
高橋宗瑠／ビジネス・人権資料センター |
| 14:50 | インドネシアにおける森林分野でのFPICの実践
パトリック・アンダーソン／フォレスト・ピープルズ・プログラム（FPP） |
| 16:00 | FPICガイドラインについて
相楽美穂／地球・人間環境フォーラム |
| 16:20 | 全体質疑 |
| 16:30 | 閉会 |

ゲスト講演者プロフィール

高橋宗瑠（たかはし・そうる）
ビジネス・人権資料センター日本代表

英国エセックス大にて法学修士号（国際人権法）取得。アムネスティ・インターナショナルの日本支部及び国際事務局（ロンドン）で勤務後国際連合に転職、ジュネーブなどを経て2009年3月より2014年5月まで国連人権高等弁務官事務所パレスチナ副代表を務める。2014年6月より英国の国際人権NGO、Business and Human Rights Resource Centre（ビジネス、人権資料センター）初日本代表。

パトリック・アンダーソン Patrick Anderson
フォレスト・ピープルズ・プログラム（FPP）
政策アドバイザー

インドネシアや東南アジアで進むパーム油や紙の原料を生産するプランテーション開発や保全活動の中で、森林やその周囲で暮らす人々や地域コミュニティの権利に焦点を当てた活動に取り組んでいる。FPPは、南アメリカ、アフリカ、アジアの森林コミュニティの権利の保障と経済開発と保全の両立を目指し、コミュニティによる団体の立ち上げや政府や企業との交渉を支援する団体。

主催：地球・人間環境フォーラム、熱帯林行動ネットワーク（JATAN）
問い合わせ：地球・人間環境フォーラム（坂本、根津）
Eメール：event@gef.or.jp、TEL：03-5825-9735、FAX：03-5825-9737